



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
 コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 丸山 沢水 TEL 026-224-6666
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,573	—	△237	—	△237	—	△186	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △189百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△33.45	—
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2019年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。

2. 2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	18,000	7,168	39.7	1,283.12
2019年3月期	19,400	7,435	38.2	1,333.57

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,150百万円 2019年3月期 7,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年3月期	—	17.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	5.8	339	—	361	—	251	—	45.16

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正有無： 無
 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,837,200株	2019年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	264,632株	2019年3月期	278,732株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,562,695株	2019年3月期2Q	5,549,218株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の企業収益、雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しに加え、設備投資の増加などもあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。先行きにつきましては、輸出に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で、中国経済の先行きや海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇もあり、依然として不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、全産業におけるソフトウェア投資は、緩やかに増加しており、先行きについても、高水準の企業収益や成長分野への対応等を背景に、緩やかな増加が期待されます。

このような状況のもとで、当社は、市区町村向けの総合行政情報システムをはじめとする基幹系システム並びに財務会計等の個別業務システムの新規顧客獲得とリプレイス、また、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、流通業向けの販売管理システム等の新規顧客獲得とリプレイス、合わせてデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、公共分野での、各種制度改正対応、基幹系システムの導入、また産業分野でのリース業務パッケージ及び販売管理システムの導入等により売上を確保しました。しかしながら、利益につきましては、ソフトウェア償却費の増加や、システムの導入に向けた作業等による売上原価の増加により、営業損失となりました。また、当第2四半期連結累計期間に一時的に生じた繰越欠損金は回収可能と判断し繰延税金資産を計上したことにより、法人税等調整額においてマイナス57百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,573百万円、営業損失は237百万円、経常損失は237百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失は186百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・国民健康保険・介護保険・固定資産税等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、プレミアム付商品券・風しんの追加的対策・介護保険データ標準レイアウト改版等の法改正対応、自治体情報セキュリティクラウドの運用、基幹系及び情報系システムのリプレイス等により売上を確保したものの、新総合行政情報システムのソフトウェア償却費や保守等により売上原価が増加し、営業損失となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,546百万円、営業損失は170百万円となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ保守及び民間企業向けデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ・販売管理システム・生産管理システム・介護支援システムの導入で売上を確保したものの、一部のシステム導入案件において売上原価が増加し、営業損失となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,027百万円、営業損失は76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,400百万円減少し、18,000百万円となりました。これは主に、リース投資資産が154百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,467百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して1,134百万円減少し、10,831百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金が482百万円、買掛金が470百万円及び長期借入金が175百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して266百万円減少し、7,168百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失により186百万円及び期末配当により100百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、39.7%（前連結会計年度末38.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、314百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は912百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少470百万円により資金使用したものの、売掛金の回収による売上債権の減少1,467百万円により資金獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は536百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出379百万円及び定期預金の預入による支出150百万円により資金使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は431百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出284百万円、配当金の支払による支出100百万円及び短期借入金の減額30百万円により資金使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表しております「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

なお、2020年3月期の通期の業績予想につきましては、不確定要素が多いことなどから、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	577,125	672,012
受取手形及び売掛金	4,632,959	3,165,385
リース投資資産	1,826,621	1,981,494
商品	195,568	265,981
仕掛品	117,034	241,835
原材料及び貯蔵品	32,601	35,040
その他	520,092	458,806
貸倒引当金	△325	△207
流動資産合計	7,901,676	6,820,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,488,845	4,383,311
その他(純額)	2,264,791	2,197,001
有形固定資産合計	6,753,636	6,580,313
無形固定資産		
ソフトウェア	3,069,514	2,889,872
その他	192,665	175,065
無形固定資産合計	3,262,179	3,064,937
投資その他の資産		
その他	1,494,352	1,545,267
貸倒引当金	△10,848	△10,838
投資その他の資産合計	1,483,503	1,534,429
固定資産合計	11,499,319	11,179,681
資産合計	19,400,996	18,000,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,437,492	966,802
短期借入金	2,932,000	2,902,000
1年内返済予定の長期借入金	550,236	441,756
未払法人税等	24,626	34,006
賞与引当金	686,534	656,537
製品保証引当金	5,691	4,837
受注損失引当金	125,846	116,194
その他	1,554,268	1,138,616
流動負債合計	7,316,695	6,260,750
固定負債		
長期借入金	1,756,672	1,580,674
退職給付に係る負債	1,416,983	1,429,406
その他	1,475,547	1,560,912
固定負債合計	4,649,202	4,570,993
負債合計	11,965,897	10,831,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,091,357	1,088,102
利益剰余金	5,597,298	5,311,147
自己株式	△610,427	△579,548
株主資本合計	7,473,710	7,215,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,541	2,711
退職給付に係る調整累計額	△65,666	△67,619
その他の包括利益累計額合計	△61,124	△64,907
新株予約権	22,512	18,010
純資産合計	7,435,098	7,168,286
負債純資産合計	19,400,996	18,000,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,573,260
売上原価	5,051,043
売上総利益	1,522,216
販売費及び一般管理費	1,759,603
営業損失(△)	△237,386
営業外収益	
受取利息	34
受取配当金	7,518
その他	1,985
営業外収益合計	9,539
営業外費用	
支払利息	8,963
その他	727
営業外費用合計	9,691
経常損失(△)	△237,538
税金等調整前四半期純損失(△)	△237,538
法人税、住民税及び事業税	5,680
法人税等調整額	△57,121
法人税等合計	△51,440
四半期純損失(△)	△186,097
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△186,097

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△186,097
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,829
退職給付に係る調整額	△1,953
その他の包括利益合計	△3,783
四半期包括利益	△189,881
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△189,881
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△237,538
減価償却費	420,607
のれん償却額	10,934
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△128
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,997
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,614
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△854
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9,652
受取利息及び受取配当金	△7,553
支払利息	8,963
売上債権の増減額(△は増加)	1,467,573
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197,654
立替金の増減額(△は増加)	267,195
仕入債務の増減額(△は減少)	△470,690
その他	△310,667
小計	920,153
利息及び配当金の受取額	7,358
利息の支払額	△9,019
法人税等の支払額	△5,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	912,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△150,000
有形固定資産の取得による支出	△379,426
無形固定資産の取得による支出	△10,219
その他	3,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000
長期借入金の返済による支出	△284,478
リース債務の返済による支出	△16,828
配当金の支払額	△100,052
その他	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△317
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,112
現金及び現金同等物の期首残高	369,125
現金及び現金同等物の四半期末残高	314,012

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。